

## 地域貢献活動への大学生派遣「おっしょべ祭りへの参加」

団体名 ● 渡邊 3 年生専門ゼミナール / 代表者名 ● 渡邊和道 (経済学部講師)

### はじめに

2019年8月24日(土)、金沢星稜大学と石川県信用金庫協会との包括連携協定に基づく事業として、渡邊ゼミの学生が粟津温泉にて催された「おっしょべ祭り」に北陸信用金庫の職員とともに参加した。

活動場所の粟津温泉は、開湯1300年となる北陸で最も古い歴史を誇る温泉郷である。おっしょべ祭りは、粟津温泉において重要な祭りで、地域の人々が一堂に会して毎年盛大に催される。

### 活動内容

6月27日、北陸信用金庫総務部主査主任役の行松成見様を本学にお招きし、金融機関の地域貢献をテーマに講演をしていただいた。

学生たちは、地域密着型の金融機関が行う具体的な地域貢献活動のあり方とその効果を、実体験を踏まえて考察したいと考え、「おっしょべ祭り」に参加することを決めた。

当日は、まず、学生と北陸信用金庫の若手職員との交流会を実施した。「金融業界の今後」「信用金庫ならではの仕事」などをテーマに、活発な質疑応答がなされた。その後に、北陸信用金庫の職員とともに、祭りに参加した。



### 成果、結果の考察

祭りにおいては、学生たちの熱意ある取組みが評価され、『粟津温泉観光協会長賞』を受賞した。

学生からは、「少子高齢化や都市部への人口流入などにより、伝統ある行事がなくなる可能性があるからこそ、地元の企業の支えが重要になっていくのではないか。」「金融機関という枠にとらわれずに地域のイベントに積極的に参加されているからこそ、地域に根ざした信用金庫となり、地域とともに発展していくことができるのではないか。地域の行事に参加することでその地域のことをより深く知ることができるし、さまざまな発見をすることができるのだと思う。」といった活動実感が寄せられた。地域貢献活動のひとつのあり方を体験する貴重な機会となったと思われる。

### 今後の課題、展望

「地域の伝統行事に対する地元企業の貢献」について、継続性をいかに担保するかという視点から、さらなる考察をしていくことが重要であると考えます。

